

## 西部ガスの再生可能エネルギー事業について

### 1. 西部ガスの再生可能エネルギー事業への参入について

西部ガスは、平成24年4月2日付で、再生可能エネルギー事業を担う「エネ・シード株式会社」を設立し（西部ガス100%出資）、平成24年度から太陽光発電事業に参入し、平成27年度から風力発電事業に参入しています。

弊社は、「総合エネルギーサービス企業」を目指しており、これまでどおり天然ガスの普及拡大を行うとともに、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの普及にも努め、「エネルギーセキュリティ向上（分散化・多様化）」と「環境負荷低減」に貢献していきます。

#### ＜エネ・シード株式会社の概要＞

（平成28年4月1日時点）

名 称	エネ・シード株式会社
所 在 地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設 立 年 月 日	平成24年4月2日
資 本 金	1億円（西部ガス株式会社100%出資）
代 表 者	代表取締役社長 山本 敏雄
事 業 内 容	再生可能エネルギー等による発電、電気の供給・販売 および太陽光発電事業

### 2. 西部ガスグループの太陽光発電事業の概要

福岡県大牟田市、北九州市、長崎県長崎市において、これまでに7カ所で太陽光発電事業を行っており、発電した電力は新電力・九州電力に売電しています。

また、弊社グループの太陽光発電事業については、事業ごとに最適なスキームを検討し、他事業者との共同事業形式（共同出資して事業会社を設立）、もしくは弊社グループの単独事業形式での取り組みを行っています。現在、共同事業形式の事業会社として「エネ・シードNOK株式会社」「エネ・シードひびき株式会社」の2社を設立しています。一方、単独事業形式については、「エネ・シードネクスト株式会社」を設立して事業に取り組んでいましたが、平成28年4月1日付けで「エネ・シード株式会社」に合併します。

#### （1）エネ・シードNOK株による太陽光発電事業

「エネ・シードNOK株」は、エネ・シード株と千代田化工建設株が共同出資して設立した事業会社です。

同社は、九州ガス圧送株 大牟田工場（福岡県大牟田市）<sup>（注）</sup>、西部ガス長崎工場（長崎県長崎市）、西部ガス北九州工場（北九州市若松区）跡地の未利用地部分、および北九州市門司区（吉志新町）の合計4カ所に、太陽光発電所を建設して運用しています。

（注）西部ガスの連結子会社：九州ガス圧送株の都市ガス工場（LNGサテライト基地）

#### ＜エネ・シードNOK株式会社の概要＞

名 称	エネ・シードNOK株式会社
所 在 地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設 立 年 月 日	平成24年7月10日
資本金(出資割合)	4千万円（エネ・シード株51%、千代田化工建設株49%）
代 表 者	代表取締役社長 早川 嘉之
事 業 内 容	太陽光発電事業

《エネ・シード北九州太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード北九州太陽光発電所
建設地	北九州市若松区響町1-26（西部ガス北九州工場跡地の敷地内）
敷地面積	約2万2千m <sup>2</sup>
運用開始	平成24年12月
発電規模	1.8MW
年間発電量	188万kWh/年（一般家庭約520戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	ソーラーフロンティア(株)製 約12,000枚
投資額	約5億円

《エネ・シード長崎太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード長崎太陽光発電所
建設地	長崎県長崎市小江町2734-6（西部ガス長崎工場の敷地内）
敷地面積	約2万4千m <sup>2</sup>
運用開始	平成24年10月
発電規模	1.5MW
年間発電量	176万kWh/年（一般家庭約480戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	ソーラーフロンティア(株)製 約9,700枚
投資額	約4億4千万円

《エネ・シード大牟田太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード大牟田太陽光発電所
建設地	福岡県大牟田市新港町1-269（九州ガス庄送(株)大牟田工場の敷地内）
敷地面積	約1万5千m <sup>2</sup>
運用開始	平成24年9月
発電規模	1.3MW
年間発電量	127万kWh/年（一般家庭約350戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	シャープ(株)製 約5,400枚
投資額	約3億5千万円

《エネ・シード吉志太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード吉志太陽光発電所
建設地	北九州市門司区吉志新町4-1
敷地面積	約2万8千m <sup>2</sup>
運用開始	平成26年3月
発電規模	2.3MW
年間発電量	242万kWh/年（一般家庭約670戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	長州産業(株)製 約8,800枚
投資額	約5億6千万円

## (2) エネ・シードひびき株による太陽光発電事業

「エネ・シードひびき株」は、エネ・シード株と旭硝子株が共同出資して設立した事業会社です。

同社は、北九州市響灘地区にある旭硝子株の所有地（北九州市若松区向洋町）において、大規模太陽光発電所「エネ・シードひびき太陽光発電所（20.5MW）」を運用しています。なお、同太陽光発電所の発電規模は、当社グループでは最大となります。

### <エネ・シードひびき株の概要>

名 称	エネ・シードひびき株式会社
所 在 地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設 立 年 月 日	平成24年12月20日
資 本 金 (出資割合)	1億円 (エネ・シード株51%、旭硝子株49%)
代 表 者	代表取締役社長 西田 和則
事 業 内 容	太陽光発電事業

### 《エネ・シードひびき太陽光発電所の概要》

施 設 名 称	エネ・シードひびき太陽光発電所
建 設 地	北九州市若松区向洋町18-1
敷 地 面 積	約27万6千m <sup>2</sup>
運 用 開 始	平成26年10月
発 電 規 模	22.4MW
年 間 発 電 量	2,300万kWh/年(一般家庭約6,400戸の年間電力使用量に相当)
太 陽 光 パ ネ ル	三菱電機株 製 約88,300枚
投 資 額	約67億円

※上記概要は平成28年3月30日に完了した増設後の内容を記載

## (3) エネ・シード株による太陽光発電事業

エネ・シード株は、平成28年4月1日付けでエネ・シードネクスト株を合併し、同社が建設・運用していた「エネ・シード響南太陽光発電所（1.7MW）」（北九州市若松区響南町）と「エネ・シード北九州第2太陽光発電所（2.4MW）」（北九州市若松区響町）の事業を継続します。

### 《エネ・シード<sup>きょうなん</sup>響南太陽光発電所の概要》

施 設 名 称	エネ・シード響南太陽光発電所
建 設 地	北九州市若松区響南町6-1
敷 地 面 積	約2万2千m <sup>2</sup>
運 用 開 始	平成25年7月
発 電 規 模	1.7MW
年 間 発 電 量	164万kWh/年(一般家庭約460戸の年間電力使用量に相当)
太 陽 光 パ ネ ル	シャープ株 製 約6,900枚
投 資 額	約4億5千万円

《エネ・シード北九州第2太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード北九州第2太陽光発電所
建設地	北九州市若松区響町1-26（西部ガス北九州工場跡地の敷地内）
敷地面積	約2万8千m <sup>2</sup>
建設期間	平成27年8月下旬～12月
運用開始	平成27年12月
発電規模	2.4MW
年間発電量	250万kWh/年（一般家庭約700戸の年間電力使用量に相当）
太陽光パネル	シャープ(株)製 約9,500枚
投資額	約6億2千万円

3. 西部ガスグループの風力発電事業の概要

弊社グループの風力発電事業は、エネ・シード(株)と、日立グループの日立ウィンドパワー株式会社<sup>※</sup>が共同出資（エネ・シード：66%・日立ウィンドパワー：34%）し、平成27年9月29日付けで設立した事業会社「エネ・シードウィンド株式会社」が担い、「エネ・シード北九州風力発電所」を建設するとともに、運営を行います。

同風力発電所は、株式会社日立製作所製の2.0MWの風車2基（合計4.0MW）を設置し、平成28年7月に着工、同29年3月に運転を開始する計画です。

＜※＞日立ウィンドパワー株式会社は、日立キャピタル株式会社（85.1%）と株式会社日立製作所（14.9%）が共同出資した、風力発電事業者です。

＜エネ・シードウィンド株式会社の概要＞

名称	エネ・シードウィンド株式会社
所在地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設立年月日	平成27年9月29日
資本金	1億円（エネ・シード(株)66%、日立ウィンドパワー(株)34%）
代表者	代表取締役社長 早川 嘉之
事業内容	風力発電事業

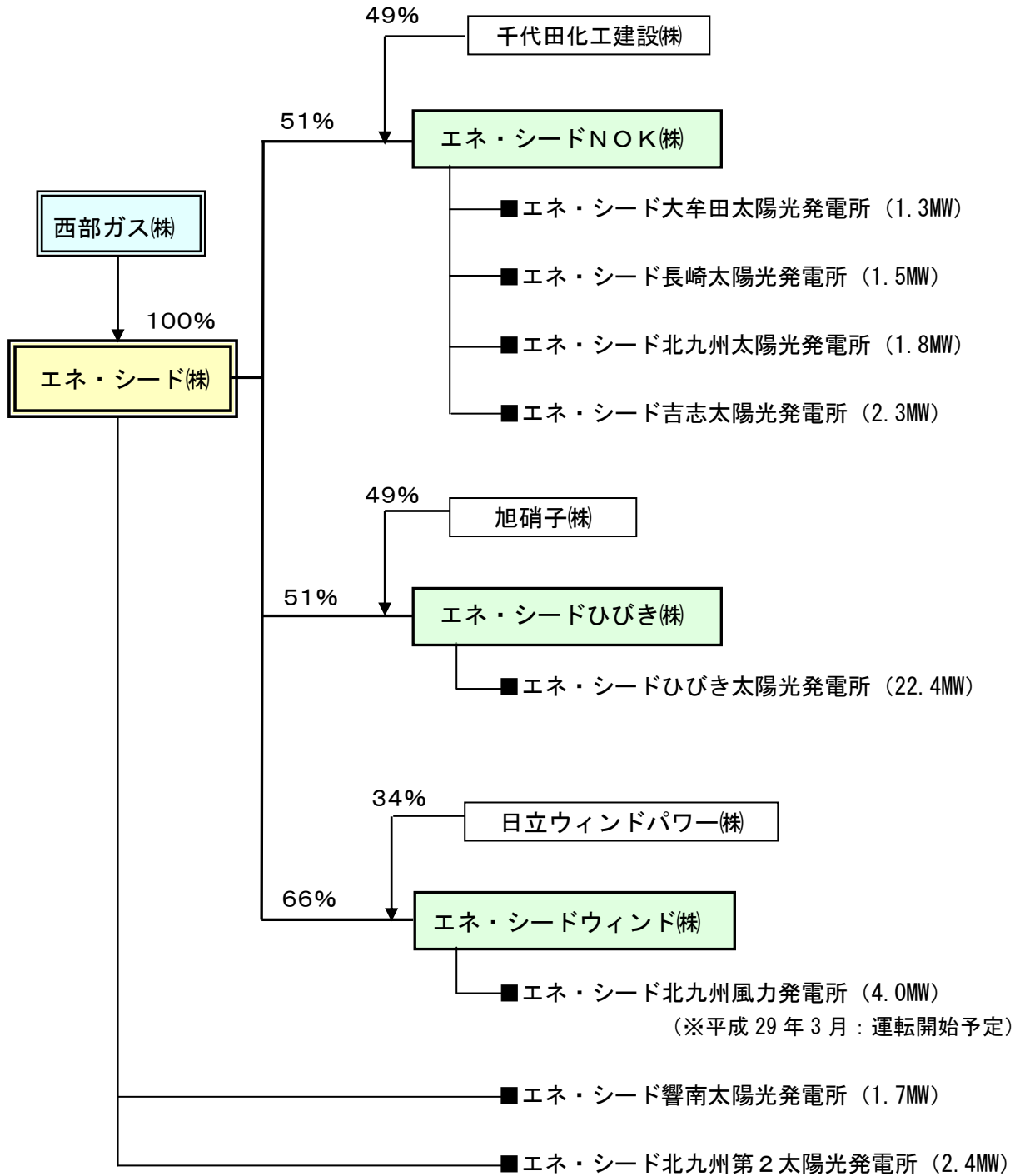
《エネ・シード北九州風力発電所の概要（予定）》

施設名称	エネ・シード北九州風力発電所
所在地	北九州市若松区響町1-26
敷地面積	約2万m <sup>2</sup>
建設期間	平成28年7月～平成29年3月
運用開始	平成29年3月下旬予定
発電規模	4.0MW ※MW=メガワット（1MW=1,000kW）
年間発電量	800万kWh/年（一般家庭約2,500戸の年間電力使用量に相当）
風車	(株)日立製作所製 2.0MW × 2基
投資額	約12億円

以上

# 《参考資料：別紙》

【ご参考】西部ガスの再生可能エネルギー事業のスキーム図（平成 28 年 4 月 1 日現在）



以 上